

6月 園だより

H29.5.31 花乃路保育園

「みんな大好き、お散歩行くよ。」

ちゅうりっぷ組（0歳児）では、ベビーカーに乗ってふれあい広場に行ったり園の周りをお散歩したりしています。広場では探索活動を楽しんでいる姿が見られます。

たんぽぽ組（1歳児）は、お相手のお友達を覚えて手をつないでお散歩に行っています。数人は、靴が履けるようにもなりました。ふれあい広場へ行くと、探索活動が盛んで坂道などにも挑戦する子が増えています。たんぽぽ組は今、「あり」に夢中で見つけると皆で座って観察しています。

さくら組（2歳児）は、お友達と手を繋いで、前に並んでいるお友達の後ろに並んで歩くことができるようになっていきます。帽子も上手に自分で被ることができるようになってきています。さくら組は、以前は怖くて滑れなかったふれあい広場にある「土のすべり台」を喜んで滑っています。遊びに夢中で、つつい洋服が土だらけになってしまうことも…。

きく・ばら・すみれ組（3，4，5歳児）は、みんなと一緒に散歩へ行っています。異年齢の関わりの中で、年上の子は年下の子に優しくすることを年下の子は、お姉さん・お兄さんに優しくされることで自分もそうなりたいと思う気持ちが持てるようになってきています。遊んでいる時に困っている子を見つけると「どうしたの？」と声をかけてあげている優しい姿も見ることができました。

散歩が大好きな子供たち、日々散歩に行くことをとても大切にしています！



今月の行事予定

- 5日：シルエット劇場（すみれ組）
- 7日：4・5歳児歯科検診
- 8日：歯磨き指導
（力久歯科衛生士による）
- 10日：保育参観
- 15日：地域交流（人形劇ドラ）
- 16日：誕生会
- 29日：皿倉山探検（すみれ組）

『今月の歌』

- ・ふしぎなポケット
- ・おんまはみんな
- ・たなばた

「たなばた」

ささのはさらさら のきばにゆれる
おほしさまきらきら きんぎんすなご
ごしきのたんざく わたしがいた
おほしさまきらきら そらからみてる



クラスからのひとくちメッセージ

ちゅうりっぷ (0 歳児)	たんぼぼ (1 歳児)	さくら (2 歳児)
生活のリズムも安定して機嫌よく1日を過ごせるようになりました。保育者に近づき抱っこを求める姿がかわいいです。室内で過ごすことが増える梅雨の時期、室温・湿度に注意し、楽しく過ごせる環境作りを心掛けます。	「あーあ」と指示したり、表情で伝えようとしたりコミュニケーションを楽しんでいます。顔を見合わせて笑っている姿がかわいいです。梅雨期に入るので、指先を使った遊びや型はめなど一人一人が好きな遊びを集中して取り組めるようにしていきます。	梅雨の時期を健康や衛生面に配慮し一人一人が快適に過ごせるようにしていきます。また、保育者に見守られながら好きな遊びをし、仲立ちをしてもらいながら気の合う友だちと一緒にあそべるようにしていきます。
きく (3 歳児)	ばら (4 歳児)	すみれ (5 歳児)
戸外あそびでは、異年齢の関わりの中であそびの幅が広がり、枕木クライミングやのぼり棒などにも積極的に挑戦し、体を動かすことを楽しんでいきます。室内あそびでは、ぬりえに興味を持ち始めているので同時にクレパスの正しい持ち方も知らせていきます。	LaQ での立体的な形作りに興味を持ち始めています。少し難しい形も、自分で作り方を確認し、完成を目指しています。集中している時の表情は、とても素敵です。今したい事に充分取り組めるよう環境を整え、満足感を味わえるようにしていきたいです。	先月はエルマーの冒険の世界を塗り絵や玩具で表現し楽しみました。言葉だけで物語を理解し遊びに発展させていく姿に驚きました。今月の園外保育ではお話の世界を楽しむと共に公共の場の過ごし方、運転手さん等お世話になった方への感謝の気持ちをもつ心を育てていきたいと思っています。

園長通信

『「自分で」の自己主張とのつきあい方は?』



ある朝のことです。登園時に突然玄関横のテラスのところから「ウーン」と大きな泣き声が聞こえました。いってみると、2才のA君が「自分で靴をなおすんやった」とのこと。そばでお母さんが困られていました。そうです、1才～2才のこの時期から「イヤだ」「自分で」という自己主張がはじまります。お家の方の育児テクニックが最も問われる時期ですね。毎年、1～2才の時期の子どもは、このテラスの靴箱を舞台に親子のやり取りが広がっています。